(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社パールマネキン パールデポ関東流通センター

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1) の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 9	2 1	2 2	2 3	2 9	3 3	5 2	9 1	9 4	

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

・海外生産品については、極力そのまま出荷できる体制を構築し、再度塗装を止める。
・有害物質を含有しない塗料の使用による抑制。
　PRTR対象物質を含有しない溶剤・塗料の使用比率を増大させることにより、
　環境負荷を軽減させる。
・塗装技術と用具の改善による抑制。
　エア圧力・パターン調整・塗面との距離・ガン操作などで塗料の使用量を削減。
　また、同色一時期塗装を念頭にペイントポンプを多用し、洗浄回数を低減する。
・同色系の調達による抑制。
　下塗りと上塗りとが同系色の物を調達する事で、塗膜の薄化を図る。
・原色系の透ける色の塗装に関して、隠蔽力を向上させる工夫を加える。
　不透明な類似色の下塗りにより、工程ロスと使用量の削減。
・返却商品への養生の徹底により、塗料不使用での出荷割合を増やす。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1) の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 9	2 9	9 4							

(その三)

工場又は事業場の名称	京成自動車工業株式会社

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1) の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 1	2 1	2 2							

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1) の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 1	2 1	2 2							

(その三)

工場又は事業場の名称	東邦シートフレーム株式会社 八千代工場

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	2 2	3 3	9 1	5 6	5 4				

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	2 2	3 3	9 1	5 6	5 4				

（その四）

工場又は事業場の名称	東邦シートフレーム株式会社 八千代工場

3　基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)　基準年度における処理回収率等

	基準年度 １２年度
使　用　量 (kg／年度) （1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。）	4400000. .　×１０
排出等の量 (kg／年度)	1400000.
処理回収率 (%)	68.

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数（基）

備考

1　この項の提出は任意であること。
2　基準年度は、２(1)の基準年度と一致させること。
3　使用量及び排出等の量は、２(1)の基準年度におけるものと一致させること。
4　処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字２桁で記載すること。
{（使用量－排出等の量）／使用量}×１００

(2)　基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
21	22	91	56						

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

平成１１年４月に、事業所内にある施設の中で最もＶＯＣ排出量の多い施設に排出ガス処理施設（蓄熱式脱臭装置）を導入し、排ガス中ＶＯＣ成分を酸化分解処理することで事業所全体のＶＯＣ排出量の約７割を処理しております。

その他の設備においては、溶剤管理の徹底、作業の効率化を実施し、歩留まりの改善を、維持して取り組み、製品に対するＶＯＣ排出量（原単位　kg/ｔ）を毎年削減しています。

備考　この項の提出は任意であること。

（その三）

工場又は事業場の名称	丸善株式会社 京葉油槽所

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1) の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
3 1	5 1								

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1) の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
3 1	5 1								

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社　竹中製作所 本社工場

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
２　１	２　２								

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
２　１	２　２								

工場又は事業場の名称	アズマプレコート株式会社 市川工場

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 2	2 3	3 1	5 4	9 1	9 2				

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 2	2 2	2 3	3 1	5 4	9 1	9 2			

(その三)

工場又は事業場の名称	神東塗料株式会社 千葉事業所

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 1	1 2	1 3	2 1	2 3	9 1				

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 1	1 2	1 3	2 1	2 3	9 1				

(その三)

工場又は事業場の名称	東洋合成工業株式会社 高浜油槽所

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
３１	４９								

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策2：屋外ﾀﾝｸ貯蔵所の塗装色をｼﾙﾊﾞｰ色から白色に変更し呼吸ﾛｽ量を削減させる。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10

（その三）

工場又は事業場の名称	東洋合成工業株式会社 市川工場

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 9	3 2	4 9	5 1	5 2	4 9	3 9	5 2	3 9	

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策１：＊ﾍﾞﾝｾﾞﾝの使用を廃止した。
対策２：＊蒸留装置＃2300のｺｰﾙﾄﾞﾄﾗｯﾌﾟの位置の見直し。（済）
＊蒸留装置＃3400の第2ｺﾝﾃﾞﾝｻｰを新設した。（VOCの削減）（済）
＊3系ﾁﾗｰ装置の負荷の見直し。（負荷の分散を計画中：現状調査）（済）
＊蒸留装置の第2ｺﾝﾃﾞﾝｻｰとしてｺｰﾙﾄﾞﾄﾗｯﾌﾟを2基増設し、VOCを効率よく補足した（済）
対策３：＊屋外ﾀﾝｸのﾄﾞﾚﾝﾎﾟｯﾄ取り付け。TK-622、623ﾀﾝｸの遮温塗装。（済）
＊屋外ﾀﾝｸにﾍﾞｰﾊﾟｰﾘﾀｰﾝ配管を設置した。（済）
対策４：屋外ﾀﾝｸのﾌﾞﾘｰｻﾞｰﾊﾞﾙﾌﾞ及びｴｽﾃﾙ中和釜のﾍﾞﾝﾄから排出されるガスを吸着除去するため
遊休としていたPSAを再稼動した。（済）
対策５：ｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ製造時のｵﾌｶﾞｽ対策としてﾃﾞｨｯﾌﾟ式吸収塔を設置した。（済）
＊目標年度（H22年度）の使用量、排出等の量を変更した。
理由；計画年度（平成22年度）の使用量、排出等の量について、原料は調達部、生産量は生産
管理部が立てた計画を元に算出した値。この為、目標年度（平成22年度）の使用量、
排出等の量を変更した。
＊H23年度の使用量が前年度に比べて減っているのは、現在、東庄町に新工場を建設中で本年度中
の稼動を予定している為、市川工場の生産計画が若干少なくなっている為である。また排出量等
の量が目標年度と同じなのは、新工場の稼動予定が延びた時には市川工場の使用量が計画値を上
回る事が予測される為、排出等の量は目標年度と同じ量に設定した。
＊H24年度の使用量が前年度に比べて増加しているのは、現在、東庄町に建設した新工場が5月から
試運転中で当初の計画より遅れている為、市川工場での生産計画量増えた。
対策６：本年度は屋外ﾀﾝｸ（5基）にﾍﾞｰﾊﾟｰﾘﾀｰﾝ配管を設置する予定。（済）
対策７：屋外ﾄﾞﾗﾑ充填施設に局所排気ﾀﾞｸﾄを設置する。（済）
対策８：対策4で再稼動したPSA装置の脱臭液を変更する予定。（継続）
対策９：H26年度、ｷｰﾊﾟｰﾌﾞﾘｰｻﾞｰ弁設置予定（TK-604,605,606,625）。（新規）
＊H27年度PSA稼働ﾃｽﾄ予定、ｷｰﾊﾟｰﾌﾞﾘｰｻﾞｰ設置継続。窒素導入量の適正化（済）。
＊H28年度PSA洗浄予定、ｷｰﾊﾟｰﾌﾞﾘｻﾞｰ設置継続。
＊H29年度、PSAの真空ポンプの更新、ｼﾘｶｹﾞﾙ・活性炭の更新をする予定。（済）
対策１：トルエンの販売を中止する（済）。
対策１：酢酸-n-ヘキシルの生産を中止する

（その四）

工場又は事業場の名称	東洋合成工業株式会社 市川工場

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 9	3 2	4 9	5 1	5 2	4 9	3 9			

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社淀川製鋼所市川工場

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
２　１	２　２	５　６							

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策１について

塗料、シンナーのフタ閉め、漏れ防止による溶剤管理の徹底

対策２について

製品品質安定化による塗料使用量の低減実施

対策３について

蓄熱式除去装置の安定運用

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
２　１	２　２	５　６							

（その四）

工場又は事業場の名称	株式会社淀川製鋼所市川工場

3　基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)　基準年度における処理回収率等

	基準年度 平成１２年度
使　用　量 （kg／年度） （１億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。）	３８０００ ×１０
排出等の量 （kg／年度）	２４０００
処理回収率 （%）	９４

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数（基）

備考

1　この項の提出は任意であること。

2　基準年度は、２(1)の基準年度と一致させること。

3　使用量及び排出等の量は、２(1)の基準年度におけるものと一致させること。

4　処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字２桁で記載すること。

｛（使用量－排出等の量）／使用量｝×１００

(2)　基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
２１	２２								

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　この項の提出は任意であること。